



～ 森下辰衛先生講演会、特別伝道礼拝に寄せて ～



この機会に三浦綾子を改めてお読みになりませんか

阿佐ヶ谷教会創立100周年記念事業として、森下辰衛先生による講演会及び特別伝道礼拝が、9月16日及び17日に開催されます。森下先生は、三浦綾子読書会代表、旭川市にある三浦綾子記念文学館特別研究員であり、講演会では自伝『道ありき』を中心に、三浦綾子文学の核心と全体を楽しく分かりやすくお話しされます。また森下先生は、「信徒の友」で3年にわたり連載されてきた『あらすじで読む 三浦綾子名著36選』を、2022年10月に日本キリスト教団出版局より出版されました。

教会図書室には、下記のように三浦綾子の多くの作品があります。森下先生は、三浦綾子の文学は「苦難に満ちた自分の実人生の上に育てられ、神との対話によって熟成された」とされています。この機会に三浦綾子の作品に改めて触れ、お読みになりませんか。 (K.I 図書委員)

三浦綾子関連作品いろいろ (現在蔵書にある関連書の一部紹介)

『三浦綾子作品集』全18巻

朝日新聞社 1983.5～84.10発行

収蔵作品:「氷点」「積み木の箱」「塩狩峠」「天北原野」「泥流地帯」「細川ガラシャ夫人」「道ありき」など

[単行本]類

『ナナカマドの街から』(北海道新聞 1985.11) 『ちいろば先生物語』(朝日新聞社 87.5) 『愛すること生きること』(光文社 97.5) 『言葉の花束 愛と命の770章』(講談社 98.6) 『三浦綾子対話集』(旬報社 99.1～3) 『夕映えの旅人 生かされてある日々3 (三浦光世との共著)』(日本基督教団出版局 2000.10) 『旧約聖書入門』(光文社文庫 2021.2) 『新約聖書入門』(光文社文庫 2022.5) 『三浦綾子 祈りのことば』(日本キリスト教団出版局 2022.4) など



『塩狩峠』

三浦綾子 著

三浦綾子作品集 第9巻 朝日新聞社 [黒 913.64 Mi]

『塩狩峠』は、「信徒の友」に1966年4月号から29回にわたって連載された。旭川六条教会の小川牧師が1939年の教会月報に「キリストの忠僕長野政雄兄が、鉄道職員として、信仰を職務実行の上に現し、人命救助のため殉職の死を遂げられた」と書いたように、実在の人物をモデルとしている。

三浦綾子は、連載を始めるに際し「この小説で私は犠牲について考えてみたい」、「犠牲とは、神への捧げものである」とし、また作品のあとがきでは、構想を考え、長野政雄氏の資料を調べるにつれ、「こんな信仰の先輩が、私たちの教会に、現実に生きておられたのか」との深く激しい感動に包まれたとしている。この感動が、三浦文学の素顔の作品と言われる『塩狩峠』を生みだした。本の表紙裏にはヨハネ福音書12章の「一粒の麦」の聖句が書かれている。 (K.I)



『三浦綾子 祈りのことば』

三浦綾子 著 おちあいまちこ 写真

日本キリスト教団出版局 [黒 198.34 Mi]

おちあいまちこさん写真背景に三浦綾子さんの祈りを鑑賞し、共にその美しい世界を見上げて祈っている気持ちになります。そのように世界を創られた神様を崇めてお祈りしたいと思います。

(P.20-21より) …もし空が赤くて 野が灰色とすれば 地に住む者の 平安はあったでしょうか ああ 主の聖名は讃むべきかな… …「剣を鋤に変える」日を 一日も早くお与えください…

綺麗で、ちょっと疲れた時に癒される写真&祈り集なので、一度開いてみてください。(Ri)